

ごみゼロ社会実現プランの体系

取組の基本的な視点 (ごみゼロ基本方針より)

- (1)意識・価値観・行動の転換
- (2)取組に関する優先順位の明確化
- (3)多様な主体の役割分担の再構築と連携・協働
- (4)ごみを資源と捉えた地域づくりの展開

- 「ごみは適正に処理すれば良い」という意識から、「まずごみを出さない」という意識へ
- 「燃える・燃えない」というごみの分別から、「資源化できる・できない」という分別へ
- 「効率性・経済性と環境保全是トレードオフ」という考えから、「それらを両立させる」という考えへ
- 「目先の利便性優先、量の豊かさ志向」のライフスタイルから、「環境への配慮優先、質の豊かさ志向」のライフスタイルへ

ごみゼロの取組に関するデータベース(施策導入、取組実践のための判断材料)

- 減量化手法に関する評価(効果、コスト、問題点等)
- 市町村ごみ行政の評価

基本理念

「ごみゼロ社会の実現」

基本目標

- ①ごみ排出量削減率
家庭系30%
事業系30%
(対2002年度実績)
- ②ごみの再利用率
50%
- ③ごみの最終処分量
0t
- ④ものを大切に長く使おうとする県民の率
100%
- ⑤環境に配慮した消費行動をとる県民の率
100%
- ⑥食べ物を粗末にしないよう心がけている県民の率
100%
- ⑦ごみゼロ社会実現プランの認知率
100%

現状と課題

- 県内ごみの排出・処理の状況
- 県民、事業者の意識
- 市町村ごみ行政の現状
- ごみゼロ実現に向けた課題

基本方向

取組の柱
(ごみゼロ基本方針より)

- 発生排出抑制
- 再資源化
- 県民参画 環境学習

《発生・排出抑制》

- 拡大生産者責任の徹底
- 事業系ごみの減量化
- リユースの促進

《再資源化》

- 容器包装ごみの減量・再資源化
- 生ごみの再資源化

《環境と経済の好循環創出》

- 産業・福祉・地域づくり等と一体となったごみ減量化対策の推進
- 公正で効率的な市町村ごみ処理システムの構築

《気運醸成・文化形成》

- ごみ行政への県民参画促進
- ごみゼロ社会を担う人づくり・ネットワークづくり

基本施策

【施策のイメージ】

- 家庭ごみの有料化制導入
- リターナブル容器的普及促進
- ローカルデポジット制度導入
- レジ袋削減・マイバッグ運動
- 排出者責任と費用負担あり方調査
- リサイクルショップ・フリーマーケット促進
- 容器包装リサイクル法完全実施
- 生ごみの堆肥化
- 生ごみのバイオガス化
- 集団回収の促進
- 拠点回収・店頭回収システム
- 福祉と連携した地域リサイクル
- 生分解性プラスチックの活用
- 廃プラ再生利用ルート開拓
- ごみゼロに資する地域活動活性化
- 廃棄物会計・LCAの活用
- 分別収集方法の最適化
- 環境学習・教育ツールの開発
- ごみゼロマイスターの養成
- ごみゼロ推進NPOの支援
- 情報提供・PR

〔役割分担〕

- 市町村○○○ 事業者■■■■ 県△△
- 市町村○○○ 住民■■■■ 再生事業者△△
- 事業者○○○ 県■■■■ 消費者△△△
- 市町村○○○ 県■■■■ 住民△△△

3 地域別の方向

ex) ・RDF市町村とそれ以外の市町村

・ごみ処理特性格(排出量、焼却量、埋立量、コストなど)

4 プラン推進のマネジメント

- ・PDCAのシステム
- ・プラン推進委員会等

県の役割

県の行動計画

- プランの啓発・PR
- モデル事業の実施
- 推進のマネジメント